

市民ライターがつくった、木更津市のガイドブック



アンケート&
プレゼント

KISARAZU MAG.

ここにしかない
あなたの、わたしの、
木更津クオリティ

2026
vol. 3



TAKE FREE

KISARAZU MAG.

木更津マガジン
Vol.3

2026年3月30日発行 発行/木更津市 印刷/佐川印刷
編集協力/スターツ出版株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1 八重洲口大栄ビル7階 TEL 03-6202-0387

ILLUSTRATION / YU FUKAGAWA, YUKA MURAKAMI, RIE KURIYAMA, ERI SASAKI, YU TAKAHASHI PRODUCER / MAKOTO FURUKAWA DIRECTOR / TAKAHIRO OKUMOTO ART DIRECTOR / DAISUKE KOMIYAMA PHOTOGRAPHER / MANABU SAND, CHIHIRO MATSUMOTO, RYO YOKODO INSTRUCTOR / TAKAMICHI FUJIWARA, SATOSHI FUJIMOTO, MOE KUMADA

KISARAZU YELLOW PAGE



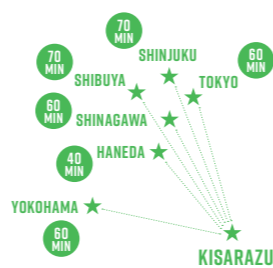
まずは市役所のHPをチェック!

木更津ってどんなところ?

- 人口/約136650人
- 名産
 - ・あさり・ブルーベリー
 - ・海苔ほか
- 日本一
 - ・中の島大橋
 - ・(日本一高い歩道橋)

木更津は都心からバスが便利!

- 東京駅から.....1500円(約60分)
- 新宿駅から.....1700円(約70分)
- 品川駅から.....1500円(約60分)
- 羽田空港から.....1400円(約40分)
- 渋谷駅から.....1700円(約70分)
- 横浜駅から.....1800円(約60分)
- ほかJRで千葉駅から...680円(約40分)



この1冊を持って木更津の街を楽しもう 木更津 街歩きMAP

JR木更津駅の西口から海まで徒歩15分ほど。東口にも味のあるお店が点在しています。車に乗って30分も走れば里山の広がるエリア。どこへ行くにもアクセス至便です。さあ、このMAPを片手に木更津を歩いて、あなただけのお気に入りを見つけてください

広域図

●海ほたる
東京湾に浮かぶ海上パーキングエリア。360度の絶景の海景と展望デッキ、ショップやレストランが揃い、木更津の玄関口として人気です

●潮干狩り
木更津の春の風物詩である潮干狩りは、東京湾一の大きな干潟であり獲りが楽しめるこの街の名物レジャーです。家族連れに人気で、金田・牛込など5つの海岸で体験できます

●小櫃川河口干潟
小櫃川河口に広がる盤状干潟は、日本最大級の自然干潟で、渡り鳥や多様な生物が集まる貴重な生態系です。東京湾に残る唯一の自然干潟として知られています

●木更津市郷土博物館 金のすず
太田山公園にある歴史博物館。金鈴塚古墳から出土した純金の鈴や装飾大刀など国重要文化財を展示し、木更津の歴史やこの街の歩みを辿れる施設です

●道の駅 うまくたの里
木更津東ICそばの道の駅。木更津産の旬のかず野菜や千葉県の名産でもあるピーナッツ商品など、数多くの特産品が揃う「食のテーマパーク」。カフェ「& TREE」も人気です

●エトワ木更津
旧富岡小学校跡を活用した「泊まれる学校」グランピング施設。教室や校庭で遊び、バーベキューや飲み放題メニューなど豊富なフードも楽しめる非日常体験が魅力の人気宿です

●クルックフィールズ
自然と食とアートが融合した体験型ファーム。動物と触れ合い、パンやスイーツでひとやすみ。環境循環を学びながら過ごせる木更津の人気スポット。宿泊も可能です

●オーガニックシティフェスティバル
毎年11月3日に潮浜公園で開催されるイベント。子どもの未来をテーマに、ワークショップや音楽、ファーマーズマーケットが並び、今では木更津の秋を代表する人気フェスになりました

全域図

駅周辺図

●中の島大橋
木更津港に架かる日本一高い歩道橋。赤い曲線が海に映え、富士山を望む絶景と夕景が名物。恋人の聖地としても人気です

●ラビン
昭和レトロの落ち着いた空間で、名物の厚焼き玉子サンドやモーニングがいただけます。豊富な定食も揃い、ランチやカフェ、さまざまなシーンで使える名店です

●港まつり
毎年8月14・15日に開かれる木更津港まつりは、やっさいもっさいと花火が街を彩る夏の最大行事。先人を敬い港の歴史を今に伝える。市民が誇る祭りです

●證誠寺
狸ばやしやの舞台として名高い證誠寺は、歴史ある境内に物語が静かに息づく古刹。木更津の伝承に触れられる落ち着いた名所です。四季の表情も魅力で心癒します

●モンシェリー
駅すぐの老舗喫茶で、多くの木更津市民にとって思い出のお店。名物の中華風焼きそばや手づくりジェラートが人気で、昭和の面影と温かさが残る駅前の定番店です

第4回

WSも折り返し地点に 少しずつページが出現

4回目からはゲスト講師はなし。いよいよ本格的に誌面制作に取りかかります。全員のラフ（誌面の設計図）が完成し、雑誌の全貌が見えてきました。いよいよ、取材に入っていきます。取材先へのアポイント、撮影、原稿執筆、すべてが初めて尽くしの市民ライターたち。その緊張感にはかけがえのないものになるはず。



第3回

日本を代表する編集者 藤本智士さんが木更津へ

日本の地域の編集者のさきがけであり「日々是編集」「取り戻す旅」など自身の著作も多数の藤本さんがゲスト講師として参戦。あらゆる意味で編集という行為を広義で捉えた「編集論」を語ってくれました。本を作る「だけ」が編集じゃないという考え方に、みんな脳みそがぐるぐる回り、目から鱗が落ちる時間です。

木更津市民が制作したこの街のガイドブック！

木更津マガジンは 市民ライターが制作しています

Vol.01、02に続き、3冊目の木更津マガジンも12人の市民ライターが制作しました
講師は首都圏のフリーマガジンの編集長が担当。市民ライターの熱が生み出す木更津案内、街歩きが楽しくなることうけあいです



川誠/スタ
イツ出版・
メトロミニ
ッツ編集長

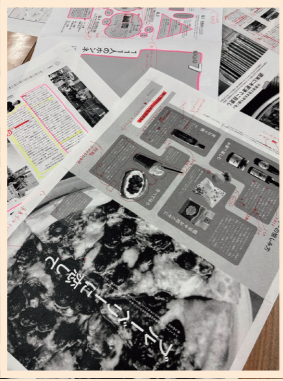
木更津マガジンは、講師の僕自身が月1回木更津に通い、雑誌制作のノウハウを伝授してみんなと一緒に作り上げました。1回のワークショップの時間は約4時間。ゲスト講師を招いての少し楽しい「業界のはなし」なども織り交ぜながら、雑誌作りをイチから体験してもらいました。多くの市民ライターは本業の仕事やママさんとしての毎日がある中で、制作は楽しいことばかりではありませんが、みんなしっかりと吸収し、おもしろい冊子が生まれたのではと感じています。

メディアは熱でできています。雑誌編集を20年近く続けている僕よりも、今回制作初体験の市民ライターの作った冊子は、間違いなくその熱量が違います。いままに取っていただけているあなたに、ぜひ木更津の魅力を少しでも感じていただけたら幸いです（古川誠/スタイツ出版・メトロミニッツ編集長）

第6回

いよいよ最終回 1冊の雑誌が完成に

毎月1回、12人で集まるワークショップも最終回。ふだんは別々の会社や場所で日常を過ごす12人も、すっかりこのプロジェクトの中で友情も芽生えたようです。最終回は自分のページにミスがないか、ゲラ（印刷前のページ）の確認を入念に。これが終わったら校了。半年かけて制作した1冊がいよいよ完成です。



第5回

取材が始まり いよいよ原稿執筆へ

原稿を書き慣れていない市民ライターたち。5回目のワークショップでは「わたしの家のお雑煮」というテーマでそれぞれが250文字で原稿を書き、それを朗読するという企画を実施しました。同じ「お雑煮」でも家庭や地域によって千差万別。そして書く人によって「こんなに違うの？」という驚きが教室中に。

第2回

オズマガジン編集長が ラフの書き方を直伝！

雑誌の設計図ともいえるラフの書き方を、街歩き雑誌オズマガジンの編集長が直伝。制作の流れや必要なことを自身の体験を交えてプレゼンテーションしてくれました。現役で日々東京の街を歩き続ける久万田編集長のリアルな授業に市民ライターの目も輝きます。「雑誌ってこうやってできるんだ」が見えてきました。



第1回

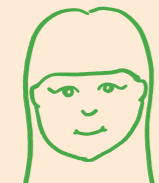
ゲストに長野・松本から 藤原印刷の藤原専務

1回目のワークショップの緊張をほぐすようにゲスト講師として登壇してくれたのは藤原印刷の藤原隆充さん。印刷業界の今をわかりやすく教えてくれました。これから本づくりを始める市民ライターにとって刺激的な話ばかりで、みんなのメモを取る手が止まりませんでした。初回から質問が止まらず白熱の展開に！



横尾

1992年夏生まれの写真好き。趣味は、旅と写真とインターネット、猫観察。至福のときは「旅先で無駄な時間を過ごしているとき」。好きな食べ物は担々麺とチャーハン。木更津1年生



岡本

昨年木更津デビューしたばかりの、都内で働く会社員。雑貨屋で掘り出し物を見つけることと、街に置かれた看板や置物を観察するのが好き。最近では歯医者の看板を収集しています



黒木

木更津市で2人の子育てをしています。理想と現実には翻弄されながらも木更津市の子育て環境、そして仲間と幾度となく助けられ日々を過ごしています。笑って、笑わせて毎日感謝ばかりです



久松

都内で働く26歳。起きている間はほぼ仕事。そんな私に縁もゆかりもない木更津が、日々の疲れを癒す「第2の故郷」になりました。東京で戦い続ける自分を取り戻せる、大切な居場所です



大庭

見るだけでワクワクし、行ってみたい！と感じられる書籍が昔から好きで自分でも作ってみたいと思っていた今、今回ご縁がありました。木更津のよさを少しでも伝えられていたら嬉しいです



高橋

木更津初心者の大学生です。メンバーの似顔絵も担当させてもらいました。この本を手にとってくださって、この文章まで丁寧に読んでくださった方に会えたことがなにより喜びです



三谷

都内→木更津にUターン移住して約2年。都内に通勤しつつ学生時代の私では感じられなかった木更津のよさをひひひ感じる毎日。ライター募集を知り、いても立ってもいられず応募しました！



小柴

木更津は学生時代を過ごした第2の地元です。大好きな雑誌を作っている方と一緒に、大好きな街を紹介することができて幸せです。あなたのお気に入りの木更津を見つけてください♡



石川

木更津に移住して3年目。田舎すぎず都会すぎず、心地いい。そんな木更津が大好きです。御朱印集めと銭湯巡りとラーメンが趣味です。私の好きが詰まったモデルコースを紹介しています



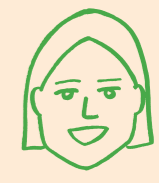
宮野

ご縁があって3年目の木更津マガジン制作。この人覚えがあるという方、お久しぶりです。初めましての方、デジタル版があるのでvol.1と2もぜひご覧ください。木更津にやんべ（行こう）♡



羽山

普段はここ木更津の、かずさエフエムのラジオパーソナリティをしています。ガイドブック作りで見つけた街の魅力や笑顔をこれからも発信し続けたいです！ラジオも是非聞いてください（笑）



松本

埼玉生まれ埼玉育ち、3年前に木更津移住。釣り好き＆羽田勤務＆マイホームを建てたくてこの地に。立地、人、子育て…何をとっても居心地がよく、勝手に#木更津を愛する会を名乗っています